

次世代空モビリティの 社会実装に向けた実現プロジェクト

2022-2026年度

5カ年の目標

本プロジェクトでは、2022年度から2026年度までの5年間で、福島県のロボットテストフィールド等を活用し、ドローン・空飛ぶクルマの性能評価手法の開発及び低高度空域を飛行するドローン・空飛ぶクルマ・既存航空機がより安全で効率的な飛行を実現できる統合的な運航管理技術を開発します。

次世代空モビリティの社会実装に向けた取り組み

本プロジェクトを通じて、ドローン・空飛ぶクルマのビジネス化、社会実装に向けた取り組みを進めていきます。

本プロジェクトの研究テーマ一覧

【研究開発項目①】 性能評価手法の開発	(1) ドローンの性能評価手法の開発	・ 制約環境下におけるドローンの性能評価法の研究開発 ・ 次世代空モビリティの安全認証および社会実装に求められる性能評価手法に関する研究開発
	(2) 空飛ぶクルマの性能評価手法の開発	・ 次世代空モビリティの電動推進システムの設計・製造承認に向けた環境試験技術の研究開発
	(3) ドローンの1対多運航を実現する適合性証明手法の開発	・ ドローンの多数機同時運航の普及拡大に向けた安全管理要件の策定（2025年度から） ・ ドローンの1対多運航を実現する適合性能評価手法の開発（2024年度まで）
	(4) ドローンの1対多運航を実現する機体・システムの要素技術開発	・ 複数コースケースにおける多数機同時運航の事業化に向けた統合的な研究開発（2025年度から） ・ 複数ドローンの同時運航実現に向けた運用要件の策定および運航管理システムの開発（2024年度まで） ・ ドローン物流における1対多運航を安全に実現するための遠隔監視システム等の研究開発（2023年度まで） ・ リモートIDを利用したドローンの1対多運航制御システム及び要素技術開発（2024年度まで）
【研究開発項目②】 運航管理技術の開発	ドローン・空飛ぶクルマ・既存航空機がより安全で効率的な飛行を実現できる統合的な運航管理技術の開発	・ 高度空間飛行を目指したエッジとクラウドのAI・最適化による高度空間と運航管理の研究 ・ 低高度空域に向けた運航管理技術の研究開発

本プロジェクトに関する最新公開情報

本プロジェクトの全体像や個々のテーマの最新活動状況を公開しています。

プロジェクトの概要紹介
(NEDO)



プロジェクトの公式サイト
(ReAMo)



プロジェクトの紹介動画
(NEDO Channel)



NEDOの役割

技術戦略の策定・プロジェクトの企画・立案を行い、プロジェクトマネジメントとして、産学官の強みを結集した体制構築や運営、評価、資金配分等を通じて技術開発を推進し、成果の社会実装を促進することで、社会課題の解決を目指します。

